



キャンパス・コンソーシアム函館

合同公開講座

函館学 2017

第6回講義

講義資料

みんなで函館の宝をあつめよう！～鳥編～

三上 修

北海道教育大学函館校准教授

日時：平成29年10月28日（土）

1部 10:30～12:00

2部 13:30～15:00

会場：はこだてみらい館（キラリス函館3階）



キャンパス・コンソーシアム函館



### 講師略歴

三上 修（みかみ おさむ） 北海道教育大学函館校 准教授

1974年松江市生まれ。

2004年東北大学理学研究科博士課程修了。博士（理学）。  
九州大学、立教大学、岩手医科大学を経て、2014年より現職。

都市に生息する鳥類の生態と人との関わりについて研究をしており、著書に

『スズメの謎—身近な野鳥が減っている!?'』（誠文堂新光社）

『スズメ—つかず・はなれず・二千年』（岩波書店）

『身近な鳥の生活図鑑』（筑摩書房）

がある。

好きなものは、ニンニクの入っていない餃子、あまり辛くないカレー、コーヒー。趣味はマンホールの撮影（ただし、カラーマンホールは認めない）。

## みんなで函館の宝をあつめよう！～鳥編～

みなさんにとって宝物はなんでしょうか？

いろいろあると思います。

人によっては、健康かもしれません。

人によっては、生きがいである趣味かもしれません。

お金という人もいるでしょう。

私も、お金は好きです。どうやったら貯まるだろうか、どうやった楽しく使えるだろうか、できれば使ってもなくなる方法は無いだろうかと、日夜悩んでいます。投資も考えますが、当たり前のことながら、ノーリスク・ハイリターンなものはないようです。

お金の価値は偉大ですが、今回は、お金のかからない宝物探しをしたいと思います。その宝物とは、普段見かける身の回りにいる、スズメやカラスやハトです。

「そんなものが宝物になるか？」とお思いの方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、これらの鳥が何をしているのか、何でそこにいるのかを知ると、日々の生活に新しいアクセントがつくこと請け合いです。

鳥を知るとは、思いもかけず函館の町を見直すきっかけになるかもしれません。

中には、ハトやカラスに悩まされている方もいるでしょう。

しかし、知れば、悩みも楽しいものになるかもしれません。

または、知ればこそ、対策も思いつくというものです。

鳥を知れば、それが宝になるかもしれません。

ノーリスク・ハイリターンの宝探しをしてみましょう。

